

## 船舶事故調査報告書

平成21年7月16日

運輸安全委員会（海事専門部会）議決

委員 長 後 藤 昇 弘  
委員 楠 木 行 雄  
委員 横 山 鐵 男（部会長）  
委員 山 本 哲 也  
委員 根 本 美 奈

事故種類	乗組員死亡
発生日時	不明（平成21年4月1日 20時37分ごろ、本船が帰港しない旨、親族が118番通報を行った。）
発生場所	不明（本船発見場所は、羽根埼灯台の南東1.4海里（M）（距岸約200m）付近（概位 北緯33°21.5′ 東経134°03.6′）であった。）
事故調査の経過	平成21年5月7日、本事故の調査を担当する主管調査官（神戸事務所）ほか1人の地方事故調査官を指名した。 原因関係者としての船長からの意見聴取は、本人が本事故で死亡したため行わなかった。
事実情報 船種船名、総トン数 船舶番号、船舶所有者等 L×B×D、船質 機関、出力、進水等	漁船 第二 <sup>まさ</sup> 正丸、0.6トン K03-18178（漁船登録番号）、個人所有 5.73m×1.64m×0.61m、FRP ガソリン機関、漁船法馬力数30、平成8年4月30日
乗組員等に関する情報	船長 男性 78歳 操縦免許を受有していなかった。（海技従事者免許原簿に記録なし。） 船長は、素潜り漁を行った経験があったが、高齢なことから、泳力について不明である。
死傷者等	死亡 1人（船長）
損傷	なし
事故の経過	本船は、平成21年4月1日早朝、高知県室戸市羽根漁港を出港し、仕掛けていた刺網を揚げて帰港したが、揚収しきれなかった刺網を揚げるため、同日11時30分ごろ、船長1人が乗り組み、再度出港したまま帰港しなかった。 4月2日06時30分ごろ、捜索中の高知県消防防災ヘリにより、漁場付近で、無人のまま転覆した状態の本船が発見された。 4月3日17時04分ごろ、同ヘリにより、羽根埼灯台の南東約2M（距岸約20m、水深約6m）付近の海底で、救命胴衣を着用していない状態の船長の遺体が発見され、揚収された。 死因は、溺死と検案された。
気象・海象	気象（室戸岬）：天気 概ね晴れ、風向 西～西北西、風力 概ね7（14時台の最大瞬間風速20.0m/s） 海象：海水温度 約18℃

	特記事項：高知県東部に強風・波浪注意報、四国沖北部に海上強風警報発表中	
その他の事項	船長の遺体には、外傷はなかった。 本船の所属漁業協同組合では、救命胴衣の着用を呼びかけていた。	
分析	乗組員等の関与 船体・機関等の関与 気象・海象の関与 判明した事項の解析	不明 不明 不明 死因が溺死であること。 操縦免許を有しない船長が救命胴衣を着用せず、落水したため、溺死した可能性があると考えられる。 船長が落水した状況、本船の転覆と船長の落水の因果関係については、明らかにすることはできなかった。
原因	本事故は、船長が、高知県室戸市羽根町南方沖において、1人で乗り組み、救命胴衣を着用せず落水したため、発生した可能性があると考えられる。	